

神奈川県自衛隊遺族会「山ゆり会」湯河原研修支援 「梅香る、湯河原で深めた遺族間交流」

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 松田辰雄 1等海佐）は、平成28年3月11日（金）、神奈川県湯河原町において神奈川県自衛隊遺族会「山ゆり会」が実施した史跡研修を支援した。「山ゆり会」は、神奈川県内に居住する陸・海・空自衛隊それぞれの殉職隊員の遺族からなり、平素は会員相互の交流の機会が少ないことから、遺族間の交流を深めることを目的に、年1回、部隊や史跡等の研修を実施している。

当日は、朝からあいにくの雨で、真冬並みの寒さでもあったが、13名の遺族が参加し、久しぶりの顔合わせで賑やかな車内となり、車窓から見える相模湾の景色にも癒されての研修となった。

午前中の研修地である「幕山公園」では、小雨のなか色とりどりの傘の花も咲かせつつ、約4000本の紅梅・白梅が咲き誇る園内を散策した。

午後は予定した研修が残念ながら中止となったが、研修者は昼食場所に併設された足湯につかったり、お土産を買うなど、和気あいあいと過ごしていた。

研修者からは、「足の調子が悪くなかなか遠出する機会を作れなかったが、今回の研修では大変楽しく過ごせた」、「久しぶりに『山ゆり会』の皆さんにお会いできて嬉しかった」等の感想が聞かれ、遺族支援業務の必要性と重要性を実感するとともに、地方協力本部は遺族にとって身近な存在でなければならぬことを再認識した一日であった。

神奈川地本潜水艦見学ツアー

「援護協力企業・予備自衛官関連団体との関係を強化」

神奈川地方協力本部（本部長 松田辰雄 1等海佐）は、平成28年3月13日（日）、海上自衛隊第2潜水隊群において潜水艦見学ツアーを実施した。

これは、援護協力企業と予備自衛官関連団体に対して自衛隊広報活動を行い、自衛隊に対する理解を得るとともに、防衛基盤の拡充を図ることを目的として、神奈川地本主催で実施したものである。

当日は、援護協力企業4社9名、予備自衛官関連6団体8名の参加を得て、海上自衛隊第2潜水隊群を訪問し、部隊の現状について説明を受けるとともに潜水艦内見学を行った。参加者からは、厳しい任務や初めて目にする潜水艦内の状況について質問が飛び交い、これにより、自衛隊の実情等についての認識や、退職自衛官の就職の援助・予備自衛官の採用に対する理解を深めることができた。

また、海上自衛隊第2潜水隊群は米海軍横須賀基地内にあり、併せて米軍基地内を見学した。参加者は、米軍内のフードコートで昼食を摂るなど、海外の雰囲気味わった。

神奈川地本は「援護協力企業や予備自衛官関連団体と自衛隊との連携の強化のため、今後も定期的にこのような部隊見学の機会を設けたい」としている。

担当区域大学学長へ挨拶

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平1陸尉）は、3月16日（水）、担当区域に所在する東海大学での募集・広報活動の強化を図るため、本部長とともに東海大学学長を表敬訪問した。

懇談の場にはキャリア就職センター長も同席され、同大学から志願又は入隊状況、自衛隊の活動の現状、予備自衛官補制度等についての説明について、熱心に耳を傾けていただき、有意義な訪問となった。

平塚地域事務所では、「今後も、担当区域すべての方々から自衛隊に対する正しい理解と協力を得られるよう防衛基盤の育成に努めていきたい」としている。



表敬訪問風景